

RISE English Course 英単語カレンダーを使った

英単語

の学び方・教え方

－はじめに－

「ライス」や「プライス」などの語を、何度も書いたりして覚えたという人は少ないと思います。ではなぜ英単語は、繰り返し練習しても覚えられないのでしょうか？

「英語が苦手！」という人の多くは、rice や price などのスペリングがよく似ていることに気づかず、丸暗記だけに頼ったりしています。

	<u>ice</u> : 氷
r + ice =	<u>rice</u> : 米、ごはん
pr + ice =	<u>price</u> : 価格
sp + ice =	<u>spice</u> : スパイス
sl + ice =	<u>slice</u> : うす切り

さらに rice の c を d にかえて ride など、知っている単語を生かせば、3,000語や 5,000語の英単語はカンタンに身につけられます。

もう、丸暗記は必要ありません！

r + ide =	<u>ride</u> : (馬などに) 乗る
s + ide =	<u>side</u> : …側(がわ)、横
sl + ide =	<u>slide</u> : すべる

* rice / ride などの i は文字の名前そのままに「アイ」、e は発音されません。

ポイント1

- 「音の足し算・引き算」になれる -

基本をおさえたら、あとは音を足したり引いたり、入れ替えたりするだけで、たくさんの単語をカンタンに読み書きできるようになります。

t + ea =	tea : お茶
t + eam =	team : チーム
st + eam =	steam : 蒸気
str + eam =	stream : 小川、流れ

例えば ea は「イー」と発音するのが基本です。書くときにも「音の足し算」を意識して「トゥ・イー・ム team」と言いながら練習してみましょう。カレンダーを見ながら、指で手のひらに書くだけでも十分です。

scr + eam =	scream : 悲鳴をあげる
scream - s =	cream : クリーム
scream - cr =	seam : ぬい目
seam - m =	sea : 海

あらかた読めるようになったら、専用アプリでのタイピング練習もおすすめ！

発音を聞いたり、文字わくを参考にしたりしながらタイピングすれば、暗記するまでノートに何度も書いて練習…なんて、もう必要ありません



* ここでの ea は、日本語の「イー」よりも少し口を横に開くようにして発音してみましょう。

ポイント2

- 知っている単語を生かす！ -

私たちは毎日、たくさんの英単語にふれていきます。ここまでに上げた語の中にも、見聞きしたことがある語がいくつもありませんでしたか？

react だけを見ると「見覚えがない」という人もいるかも知れませんが、こうして並べてみると「なるほど!」となることもよくあることです。

	act : 行い、演じる
act + ion =	action : 行動
re + act + ion =	reaction : 反応
reaction - ion =	react : 反応する

小学高学年でも1,000語以上、中高校生ともなれば軽く2,000語以上ともいわれる「なじみがある語」を生かさない手はありません。

カタカナ語だって「サプリ」や「アプリ」をもとにすれば、次のような語はぐんと覚えやすくなります。

sup + ply =	supply : 供給する
sup + ple + ment =	supplement : サプリ
ap + ply =	apply : 適用する
ap + plic + ant =	applicant : 志願者
ap + plic + ation =	application : アプリ

* ポイント1の seam も seamless : 縫い目のない、野球好きの人なら 2-seam としたらどうでしょう？

ポイント3

-音から受けるイメージを生かす-

日本語と英語でも、似ている点が思っていた以上にあることがわかってきています。例えば slide などの sl は、日本語で「スルッとすべる」というときの「スルッ」に音が似ています。

slide : すべる、すべり台
slip : (ツルっと) すべる
sled : (小型の) そり

stream の str は「すっと伸びる」というときの「すっと」とも似ています。恐がったりして「大きく高い声を出す」ことを意味する scream は、黒板を爪でひっかくまねをしながら言ってみましょう。丸暗記よりもずっと記憶に残りやすく、同じように大きな声を出すにしても shout などとのニュアンスの違いまで理解しやすくなりますよ。

str + eam = stream : 小川、流れ
scr + eam = scream : 悲鳴をあげる

スポーツなどの前にする「ストレッチ」や「スクラッチカード」などと結びつけるのも方法です。

str + etch = stretch : 伸ばす
str + eess = stress : 緊張、強調
scr + atch = scratch : ひっかく
scr + ape = scrape : こすり落とす

* sl は「スルッ」の他にも「すらり、そろり」、str は「すっ、ピーン」、scr は「キーキー」「カリカリ」にも通じるものが感じられます。

ポイント4

-語の成り立ちを知り、つなげる！-

「part と party は親せき」と言ったら「？」と思う人も少なくないと思います。party は part + y で「パーティ、政党」。もともとの意味は「一部の人の集まり」です。

part : 部分
part + y = party : パーティ、政党
part + ial = partial : 一部の

「語の成り立ち」を知れば、より多くの語と語をつなぎ合わせて、今よりずっとカンタンにたくさんの語を身につけられます。

de + part = depart : 去る
de + part + ure = departure : 出発
de + part + ment = department : 部門

export は「外に運ぶ」から「輸出」、important は「中に運ぶほど」から「重要な」を意味するようになりました。難しそうに見える語もパートに分けると、読み書きがずっと簡単になります。

port : 港
ex + port = export : 輸出 (する)
im + port = import : 輸入 (する)
im + port + ant = important : 重要な

* important の port などを語の根っこ、「語根」といいます。im- など単語の頭に付く部分は「接頭辞」、-ant などは「接尾辞」といいます。

おすすめの練習方法

1 10秒でも、毎日少しずつ

カレンダーは目につく場所に貼って、できれば毎日、少しの時間でも繰り返し読みましょう。

2 上から下に、下から上に

上から下に、下から上に、似ているところ、異なるところを意識しながら読んでみましょう。入門と初級・中級で関連する語も探してみましょう。

3 考えて読む

例えば nut が読めないときは、前後の cut や net を、さらに日本語の意味なども参考にしながら読んでみましょう。

4 専用アプリを活用する

アプリを使ったタイピング練習はゼツタイのおすすめ！発音も耳だけに頼らず、意味なども参考に聞き取るようにしましょう。

5 文字わくを生かす

タイピング練習をするときには、文字わくを参考にしましょう。目からの記憶を促すことで、sleep を sreep とするようなまちがいを防ぎます。



音声やタイピング・アプリはこちらから。より詳しい手引き、文を理解する力を伸ばす練習法を紹介する動画など、英語学習に役立つ情報を公開しています。



発行元：NPO法人リヴォルヴ学校教育研究所

〒305 - 0031
茨城県つくば市吾妻1-10-1 オフィスC
TEL : 029 - 856 - 8143
<https://rise.gr.jp>

